

政策の柱	Ⅱ 市民の学び意欲と豊かなこころを育むために	政策名 (基本施策名)	1 生涯にわたる学習活動を促進する	政策の達成目標 (基本施策目標)	子どもから大人まで、市民の誰もが自分に合った学習の機会や場を得られるとともに、意欲をもって地域のための活動に取り組んでいます。	H23中間総括評価 時点の政策の達成度	B	A:順調 B:概ね順調 C:少し遅れている D:遅れている
------	------------------------	----------------	-------------------	---------------------	---	------------------------	----------	----------------------------------

1 政策を構成する各施策の取組状況

No.	施策名	主要な取組内容	施策指標の実績とH24末の見通し	指標の達成率	施策指標 指標の数値	課題
1	社会をつくる人づくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> ◆地域人材の育成及び社会活動の促進のため、人材かがやきセンターや各生涯学習センターにおいて、地域を支える人づくりにかかる各種講座・事業を実施している。 ◆人と人、人と地域をつなぐ仕組みづくりの推進のため、地域教育メッセを開催するとともに、生涯学習コーディネーターの育成・支援に取り組んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆生涯学習センターにおいて多様な市民ニーズに即した事業を実施してきたことにより、施策指標である講座・事業への参加者数は、すでに目標値を大きく上回っている。 ⇒ 引き続き目標の達成が見込まれる。 ◆マナビスにおける団体・講師の登録件数については、貸し館利用団体の登録を開始したことにより数値が飛躍的に伸びており、講座の登録件数については目標の80%前後を推移している。 ⇒ 今後一層マナビスの活用促進や講座情報の収集に努めることで、登録件数の増加が見込まれる。 	122.0%	◎全生涯学習センターで開催される講座・事業への延べ参加者数 現状値 H23:41,480人 ↓ 目標値 H24:34,000人	<ul style="list-style-type: none"> ◆施策目標達成に向けて、地域人材の育成はもとより、学んだ人材を活躍の場へとつなぐ仕組みづくりが課題となっている。 ◆地域教育の着実な推進にあたっては、地域社会の牽引役となる大人の気づきが重要であることから、大人に対する学習機会の充実及び参加促進が課題となっている。
2	家庭・地域の教育力の向上	<ul style="list-style-type: none"> ◆親学向上のため、親学出前講座や家庭教育講座など、保護者が子育てに必要な知識を学ぶことのできる機会を提供している。 ◆家庭・地域の教育力向上のため、魅力ある学校づくり地域協議会を全校に設置、地域はみんなの学校づくり事業を推進し、地域ぐるみの取組を進めている。 ◆児童の放課後の居場所づくりや体験活動の充実を図るため、放課後子ども教室と子どもの家を一体的に実施する宮っ子ステーション事業を推進している。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆放課後子ども教室に係る延べ地域活動者数については、地域教育活動の必要性を訴え、活性化支援に着実に取り組んできたことにより、目標値を大きく上回る実績となっている。 ⇒ 今後は宮っ子ステーション事業として更に事業を推進していくことで、引き続き目標の達成が見込まれる。 	314.4%	◎放課後子ども教室に係る延べ地域活動者数 現状値 H23:14,716人 ↓ 目標値 H24:4,680人	<ul style="list-style-type: none"> ◆親学の推進にあたっては、子育てに必要な知識を学ぶ機会の充実や、関係団体・企業等との連携強化が課題となっている。 ◆家庭教育支援センター機能の整備については、H22に人材かがやきセンターを設置し各種事業を行っているところであり、家庭教育支援のリーダーとなる指導者の育成が課題となっている。 ◆地域と連携した魅力ある学校づくりの推進にあたっては、各魅力ある学校づくり地域協議会における活動の充実・強化と、活動状況に偏りが見られ、その解消が課題となっている。 ◆宮っ子ステーション事業の推進にあたっては、事業全体のあり方の見直しや、放課後子ども教室の開設日数の拡大など事業内容の充実が課題となっている。
3	生涯学習活動への支援充実	<ul style="list-style-type: none"> ◆市民の学習機会の充実のため、人材かがやきセンターや各生涯学習センターにおいて、市民の学習ニーズに対応する多様な各種講座・事業を実施している。 ◆市民の図書館利用を促進するため、新たに南図書館を整備するとともに、その他の図書館においても資料の充実やサービス向上を図るなど、図書館事業の充実に努めている。 ◆市民の主体的な学習活動を促進するため、地域教育メッセの開催や生涯学習コーディネーターの育成を進めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆生涯学習コーディネーターの人数については、年々着実に育成を進めており、達成率は目標値の78%となっている。 ⇒ 今後、募集方法の工夫や積極的な活動支援を行っていくことにより、人数の増加が見込まれる。 ◆地域教育メッセ出展団体数については、対前年比減となっているが、H23は南図書館を会場としたことにより、多くの市民に地域教育の重要性、地域において活動している団体の状況などについて周知する機会となった。 ⇒ 引き続き高い達成率が見込まれる。 	78.0%	◎生涯学習コーディネーターの人数 現状値 H23:78人 ↓ 目標値 H24:100人	<ul style="list-style-type: none"> ◆地域教育推進センター機能の整備にあたっては、H22に人材かがやきセンターを設置し各種事業を行っているが、地域教育を更に推進していくため、支援機能の充実と各生涯学習センターとの連携強化が課題となっている。 ◆市民の主体的な学習活動の促進にあたっては、社会ニーズに対応した事業を実施するとともに、多様な学習機会の提供及び学習成果を生かす機会の創出が課題となっている。 ◆図書館事業の推進にあたっては、南図書館の開館により5館体制となった本市図書館の効率的・効果的な管理運営が課題となっている。
政策を構成する施策指標の達成状況		A	※各施策の「指標の達成度」の平均値をA～Eの指標で提示 90%以上:A 80～90%:B 60～80%:C 40～60%:D 40%未満:E	施策指標の達成度 平均値	171.5%	

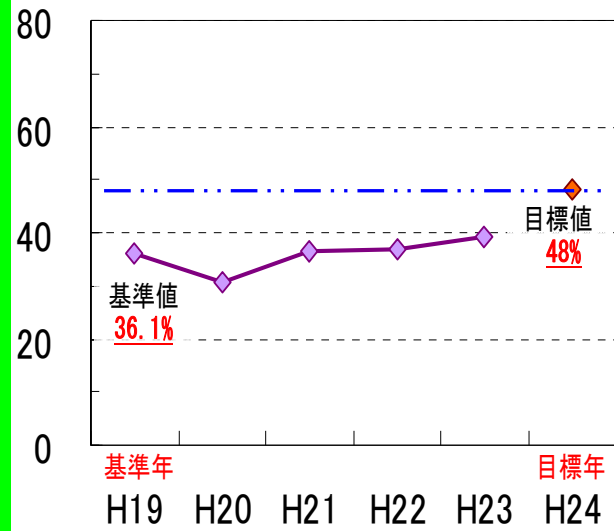
2 これまでの取組状況（H20～H23）と見通し

主要な取組内容	成果の大きい施策	「家庭・地域の教育力の向上」については、施策指標が目標値を大きく上回っている。施策に対する市民の重要度・満足度も高く、一定の評価を得ているところである。	外部 特記 事項 など	<ul style="list-style-type: none"> ◆国においては、平成20年中央教育審議会の答申で、国民一人ひとりの生涯にわたる学習活動のためには多様な学習機会の充実及び適切な提供が必要であり、またその学習成果を家庭・地域の教育力の向上や社会全体の発展へとつなげていくことが重要であるとの提言がなされている。 ◆核家族化・都市化の進行などにより、家庭・地域の教育力の低下が憂慮されている。 ◆市民のライフスタイルや価値観の変化に伴って、生涯学習や地域教育に対する市民ニーズも多様化・高度化しており、その対応が求められている。 ◆東日本大震災を機に地域の絆や人とのつながりの重要性が改めて注目されるとともに、防災意識や放射能対策といった新たなテーマについての学習ニーズが高まっている。 	実績とH24末の見通し	<ul style="list-style-type: none"> ◆社会をつくる人づくりの推進については、人材かがやきセンター・各生涯学習センターにおける地域の人材育成にかかる講座等の実施や、地域教育メッセの開催など、順調に施策事業が進捗している。 ⇒ 引き続き人材かがやきセンターにおいて体系的な人材育成事業を進めることなどにより、地域社会に貢献できる人づくりを推進している。 ◆家庭・地域の教育力の向上については、親学出前講座の実施や魅力ある学校づくり地域協議会の活動支援、宮っ子ステーション事業の実施など、順調に施策事業が進捗している。 ⇒ H23より「地域はみんなの学校づくり事業」として実施している地域協議会の活動支援に取り組むことなどにより、家庭・地域の教育力向上を着実に推進している。 ◆生涯学習活動への支援充実については、多様な講座等の実施や、図書館事業の充実など、順調に施策事業が進捗している。 ⇒ 地域人材バンクの整備や生涯学習コーディネーターの育成を進めることなどにより、個人の学びを地域での活動につなげる仕組みづくりを推進している。
	取組の遅れている施策	「社会をつくる人づくりの推進」及び「生涯学習活動への支援充実」については、市民の重要度があまり高くない状況にある。施策指標のうち、講座等への参加者数は目標値を達成しているものの、生涯学習コーディネーターの人数は目標値の78%となっており、人材育成にかかる取組のさらなる推進が必要である。また、人材育成の次のステップとして、活躍の場の創出や、人材と地域をつなぐ仕組みづくりについて、取組を進めていく必要がある。				

3 市民意識調査結果

H23市民意識調査	市民の政策満足度	
	H23満足度	達成率
	39.4%	82.0%
	目標に対する達成率が 高：90%以上 中：70～90%未満 低：70%未満 <div style="font-size: 2em; font-weight: bold; color: blue; margin-top: 10px;">中</div>	

政策に関する市民満足度の推移（H19→H23）



4 今後の方向性

今後の方向性

◆「社会をつくる人づくりの推進」については、「市民が意欲をもって地域のための活動に取り組む」という目標を達成するため、人材かがやきセンター及び各生涯学習センターにおける各種人材育成事業に取り組んでいるところであり、育成した人材を実際の活動に円滑に結びつけていく必要があるため、今後は、学んだ人材を活躍の場へとつなぐ仕組みづくりに取り組んでいく。

◆「家庭・地域の教育力の向上」については、政策目標の達成に向けて、「親学出前講座の実施」や「魅力ある学校づくり地域協議会の活動支援」、「宮っ子ステーション事業」などを実施している。

中でも、「宮っ子ステーション事業」については市民の関心度や重要度が高く、事業全体のあり方の見直しや、放課後子ども教室の開設日数の拡大など事業内容の充実について検討していく。

またH23から実施している「地域はみんなの学校づくり事業」では学校、家庭、地域、企業が連携・協力しながら、地域の教育力を生かした学校教育の充実と家庭地域の教育力向上のための活動を進めている。これらの活動を通して、信頼され魅力のある学校づくりが進んでおり、今後は地域学校園で連携した取組の充実について検討していく。

◆「生涯学習活動への支援充実」については、「自分にあった学習の機会や場を得られている」状態を目指し、多様化する市民の学習ニーズに応え、市民の主体的な学習活動を促進するため、多様な学習機会の提供及び学習成果を生かす機会の創出に取り組んでいく。

また、市民にとって身近な生涯学習施設であり、南図書館の開館により5館体制となった図書館については、各館の特色を活かし、効率的・効果的な事業実施及び管理運営に努めることで、市民の主体的な生涯学習活動をより一層支援していく。